

経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県 七尾市

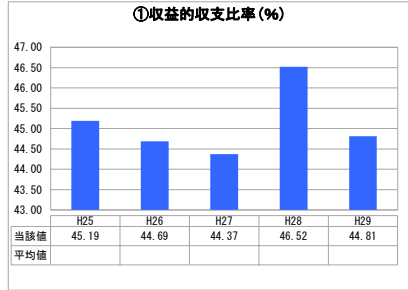
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
34.10	該当数値なし	29.11	80.55	3,348

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,927	318.29	169.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,545	5.30	2,933.02

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



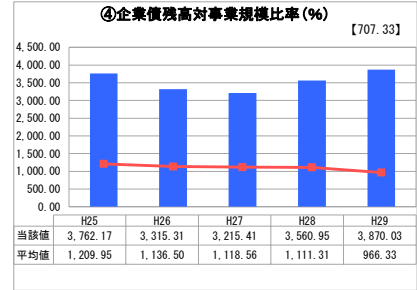
「単年度の収支」



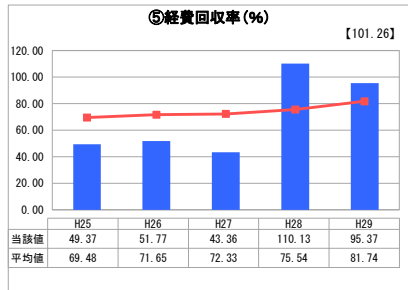
「累積欠損」



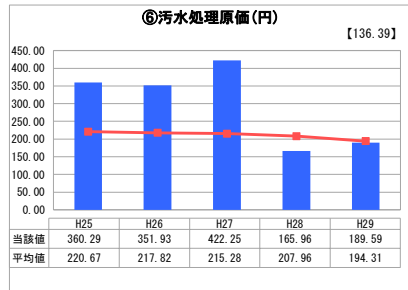
「支払能力」



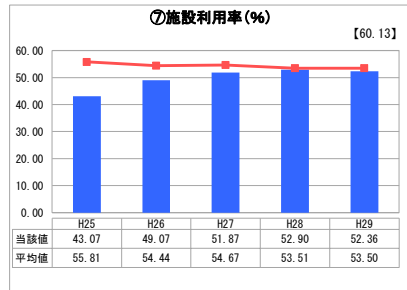
「債務残高」



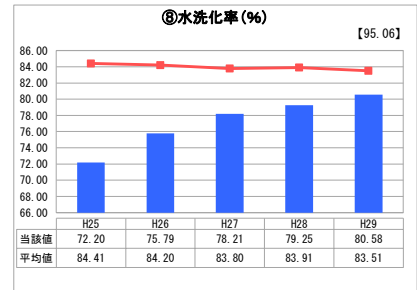
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

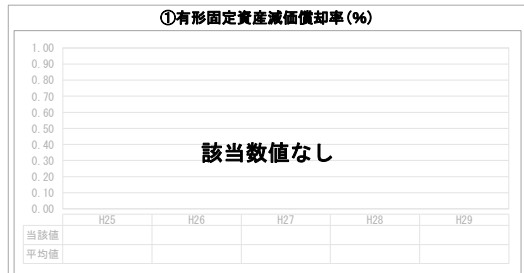


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

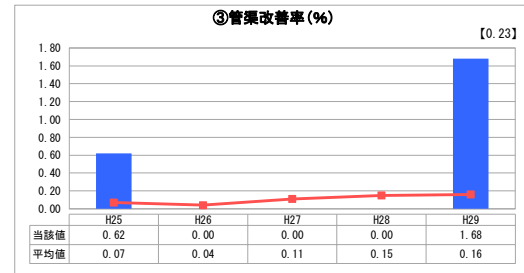
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新規整備による有収水量の増加により使用料収入は毎年増加しているものの、汚水処理量の増加から処理費用などの管理費が増加し、また、事業投資に要した地方債の元利償還費が2021年度をピークに増加していることから使用料収入等に対し維持管理費や元利償還費の比率が高い状況にある。このことから①収益的収支比率は低い状況にある。

④企業債残高対事業規模比率は、未だ地方債の残高が大きいため類似団体と比較すると高い状況にある。

⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、平成28年度以降、分流式下水道等に要する経費の見直しにより数値が改善している。

⑦施設利用率は、整備により毎年少しずつ向上しており、類似団体平均値に近づいている。

⑧水洗化率は、毎年増加しているが、供用開始から間もないエリアで水洗化率が低いことなどから類似団体と比較して低い状況にある。

2. 老朽化の状況について

管渠は、③管渠改善率にあるとおり供用開始から20年を経過した時期に鉄管やヒューム管の管渠内に腐食し、敷設管等の改築を行っている。今後は、腐食が発生しやすいヒューム管や処理場近くの流量の多い管渠の延命化や更新の費用の増加が見込まれる。

中継ポンプ場や処理場は、老朽化に伴い機械設備や電気設備の更新が必要な状況にあるため、更新計画に基づき計画的に実施している。

全体総括

事業計画面積における整備率が39.0%（平成29年度末現在）と低い状況にあるため、現段階では、収益に対して初期投資した処理場の設備等の投資が過大な状況である。

今後は、投資費用が過大とならないよう整備計画の適正化を図りつつ整備を着実に進め、施設利用率や水洗化率の向上による使用料収入の確保に努めるほか、老朽化による管渠や処理場の更新や延命化を計画的に実施するなど費用の平準化を図り、経営の健全化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。